

1 1 (平成30年度参考調査)寒締め栽培におけるハウレンソウの品種特性調査

調査の目的

市内の寒締めハウレンソウ栽培では「冬霧7」や「寒味」が用いられており、品種の切替検討が必要な課題は生じていません。しかし、新品種の販売などが行われていることから、市内での寒締め栽培への適応性を調査し、今後の導入可能性を検討しました。

関係先

市内の寒締めハウレンソウ生産者

供試品種

①冬霧7(標準品種), ②朝霧7, ③じっくり朝霧, ④寒味, ⑤寒味・極(きわみ)
⑥雪美菜02(販売元:①②③…渡辺採種場, ④⑤…トキタ種苗, ⑥…雪印種苗)

耕種概要

- ・作型:無加温ハウス栽培(内張カーテンあり)
- ・播種:H30.9.13(406穴育苗用紙筒1穴1粒播種)
- ・定植:H30.9.27(銀ネズ有孔マルチ使用)
- ・栽植密度:条間15cm×株間15cm, 4,444株/a

調査方法

(1) 調査項目

- ア 発芽調査:発芽日数, 健全発芽率
- イ 苗質調査:定植時の葉数(子葉除く), 最大本葉長
- ウ 収穫調査:一株重, 最大葉長, 葉数, SPAD(葉色), 葉柄部 Brix(糖度)

(2) 収穫調査時期

H30.11.21, H30.12.19, H31.1.17の3回実施。

主な結果

(1) 発芽

- ・「冬霧7」が特に良好で、「雪美菜02」は劣りました。

(2) 定植時苗質

- ・本葉数には、品種間差がありませんでした。(データ略)
- ・本葉長が長いのは「冬霧7」、短いのは「じっくり朝霧」と「雪美菜02」でした。

(3) 収穫調査結果

- ・一株重が重く収量性が高いと判断されたのは「寒味・極」と「雪美菜02」、一株重が軽く収量性が低いと判断されたのは「じっくり朝霧」でした。
- ・葉色が特に濃いのは「寒味・極」と「雪美菜02」でした。
- ・葉長が長いのは「雪美菜02」、短いのは「寒味・極」でした。
- ・葉数が多いのは「寒味・極」、少ないのは「じっくり朝霧」と「雪美菜02」でした。
- ・糖度は「冬霧7」「朝霧7」「じっくり朝霧」「寒味」がほぼ同等、これら4品種より「雪美菜02」はやや低く、「寒味・極」は低くなりました。

各品種の調査結果・収穫時の写真

品種	主な調査データ（複数回調査の通算）					H30. 12. 19 収穫時の写真	
冬霧7 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	90%	2.4cm	22.4cm	68.1g	53.3g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.7枚	17.6枚	21.3枚	56.3	8.6%			
主な特徴	発芽・収量性・作業性・糖度など、いずれも高い水準で安定。当地での栽培適性が優れる。						
朝霧7 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	82%	2.1cm	22.6cm	66.0g	49.6g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.7枚	16.5枚	20.2枚	56.1	8.8%			
主な特徴	「冬霧7」に似ているが、H30の在庫種子限りでの終売が確定している。						
じっくり朝霧 (渡辺採種場)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	87%	1.4cm	23.0cm	60.5g	45.3g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.3枚	15.1枚	18.4枚	56.5	8.6%			
主な特徴	収量性が劣り、低温時には歩留まりも低下。当地での栽培適性は低い。						
寒味 (トキタ種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	83%	1.9cm	22.7cm	68.0g	52.1g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.9枚	17.4枚	21.3枚	56.8	8.6%			
主な特徴	「冬霧7」との比較では、発芽がやや劣る以外ほぼ同様の傾向。株元は「冬霧7」よりやや立性。						
寒味・極 (トキタ種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	81%	2.1cm	20.9cm	72.5g	61.1g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.9枚	18.4枚	22.3枚	62.8	6.7%			
主な特徴	葉色の濃さ、収量性、出荷時の作業性は「冬霧7」を上回る。しかし、糖度が低い。						
雪美菜02 (雪印種苗)	健全	定植時	収穫時	平均一株重			
	発芽率	本葉長	最大葉長	調製前	調製後		
	62%	1.7cm	24.9cm	73.8g	56.4g		
	葉数			SPAD	Brix		
	調製時摘葉	調製後残葉	合計	(葉色)	(糖度)		
3.9枚	15.9枚	19.8枚	63.4	7.6%			
主な特徴	発芽やや劣る。生育旺盛で収量性は高いが、糖度はやや低い。低温には強くなく、早期出荷に向く。						